



夢風

YUMEKAZE

第86号 (平成28年度 No.4)



みなさん、夢風ようこそ。

あっという間に1学期が終わり、夏真っ盛りとなりました。夏休みと言っても、補習や部活に頑張る生徒の姿が校内の至る所で見られます。9月からは特別教室にも冷房が設置されるので、より集中して学習活動に取り組めるようになるのではないのでしょうか。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



● 出前講座「職業・上級学校を理解しよう！」（1年生）

1年生の「産業社会と人間」の授業では、進路選択の一助として大学、短大、専門学校から講師の方に来ていただき出前講座を開講しています。今年度は7月4日（月）に行われ、生徒たちは11の分野別講義と就職講話の中から興味がある講座を受講しました。

看護学や国際関係学をはじめとする講義から、ファッションカラーコーディネートや調理基礎技術など実習を主体とする講義まで、多岐にわたる講座が展開されました。生徒たちは各分野の専門家による丁寧でわかりやすい講義を熱心に聞き、実習に真剣に取り組んでいました。

上級学校でどんなことを学ぶかはもちろん、実際にどのような職業に就けるか等について具体的に聞くことで、これからの自分の進路を考えるにあたり、参考になったことと思います。



音楽系講座には大学院生も来てくださり、ミュージカル劇のステップに挑戦しました。



幼児体育の講座では全員が子ども役に。(保育・幼児教育系)



誰の紙飛行機が一番遠くへ飛ぶかな?(理工系)



プロの技に釘付けです。(調理・製菓系)



● 講演会(2年生)

2年生の「総合的な学習の時間」では、10月の修学旅行に向けた異文化理解研究を進めています。その一環として外部講師をお招きし、国際問題や異文化理解について講演していただく機会を設けています。

6月13日(月)、独立行政法人国際協力機構(JICA)で長年勤められた勝田幸秀氏(名古屋大学特任教授)に講演していただきました。まず何種類かの世界地図を見せて「世界は広くて多種多様であり、ものにはいろんな見方がある」ことを示され、タンザニアやジンバブエなどアフリカでの勤務経験をもとに「発展途上国は特別な場所ではなく、実はとても面白いところ」だと話をしてくださいました。最後に、食わず嫌いはせず、ぜひ興味を持ってほしいとのメッセージをいただきました。



● 広東省高校生受け入れ

7月14日(木)、中国広東省の高校生20名が本校を訪れ、交流授業と交流会が行なわれました。

1年4組の英語表現Iの授業では、流ちょうな英語で自己紹介をもらった後、本校の生徒が写真を見せながら日本の紹介をし、日本と中国の学校生活の違いについてグループワークを行ないました。パン販売や自動販売機があると伝えると羨ましがられ、訪問した高校生たちから3000人の生徒が寮生活をしていると聞くと、今度は本校の生徒が驚きの声を上げていました。中国語選択者と一緒に昼食をとった後には、交流行事が行なわれました。訪問団は伝統舞踊や歌を披露してください、本校生徒はソーラン節を披露しました。「どっこいしょ!」の声をかけてもらい、最後に訪問団の皆さんや浴衣姿の本校生徒も入り交じって全員で踊りました。その後、華道体験やI FC部との交流を楽しんでもらい、無事日程を終えました。短い時間ではありましたが、双方の生徒にとって貴重な経験となりました。



● 東海大会(女子ソフトテニス部)

6月19日(日)、岐阜県瑞浪市で東海大会が行なわれ、3年4組西宮里都さん、3年1組城内美咲さんがダブルスで出場しました。結果は初戦敗退でしたが、小学生時代からペアを組んできた二人らしく、息の合ったプレーで最後まで粘り強く戦いました。

